

# ツインシティ倉見地区 まちづくりニュース

このまちづくりニュースは新幹線新駅の誘致とツインシティのまちづくりの情報をお知らせするものです。

## 町長との意見交換会を開催しました！

平成23年10月29日（土）午後6時30分より、倉見地域集会所で「ツインシティ倉見地区のまちづくりに関する木村新町長との意見交換会」を開催しました。

当日は促進協議会、倉見まちづくり協議会や倉見共有地会の方々など36名が出席し、活発な意見交換を行いました。

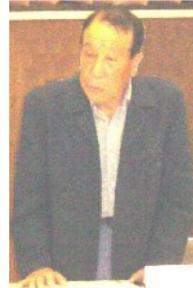


### 藤沢喜代治 東海道新幹線(仮称)倉見新駅促進協議会会長

平成9年11月（県内での新駅誘致地区が寒川町倉見地区に決定）以来、14年が経過してもツインシティのまちづくりが実現に至っていないのは、県や町と地元との意見にギャップがあったからです。

8月の町長選挙で誕生した木村新町長は、まずは皆さんの意見を良く聞き、舵取りをしていきたいという気持ちからこの会への出席を引き受けていただきました。

ご出席の皆さんから忌憚（きたん）のないご意見やご質問をいただきながら、何とか地元の発展を考えてまいりたいと思います。



### 木村俊雄 寒川町長

ツインシティ倉見地区まちづくりは、町の3つの大きな拠点づくりの一角を担うとともに、県の計画にも関わる非常に重要な計画です。新町長としては、現行の町総合計画の考え方は踏襲しますが、地元の合意なしに計画や事業を進めることはできません。

皆さんと一緒に考え、信頼関係を築き、今後のまちづくりを進められるよういろいろご意見をいただきたいと考えております。



### 飯田 誠 県議会議員

これからも県の情報をお伝えしていきます。町と地元の皆さんの意見を十分聞いた中で、皆さんの意向と取り組みに誤差が生じないように努力してまいります。



ご多忙の中、  
駆けつけてくださいました

## 主なご意見

町長

●先行整備検討について団体別に会議をすると言ったが、いきなり戸別訪問を実施した。

●戸別訪問(第1回目)は大勢で来た。アンケート回答の控えがなく、後で確認したら自分の考えと違う捉え方をされた部分があった。今後は分かりやすく表現してほしい。

●過去には用地買収や地区計画による手法の考えもあったのに、土地区画整理を誘導していないか。

●少人数で説明会を開き、説明会に参加できない方に対して戸別訪問してはどうか。

●訪問結果を今後に生かして欲しい。

○不信や不安を持たれないよう、目的が明確で、理解しやすい説明やアンケート方法に心がけ、信頼関係を築いていきたい。

○地元と約束してきたことを守りながら、皆さんと話し合いを進めます。

町長

●相模川は災害に強い整備を広域的に取り組むべき。

●ツインシティ橋の整備には共有地の会と話し合いが必要。

●(23年)9月に黒岩県知事は寒川・平塚を訪問した際、県で作成したツインシティ計画を批判した。

○震災後にまず考えるのは治水。活用も課題になる。町の考えを出しながら、県とともに今後の整備を進めていきたい。

○県計画の内容を地域に伝え、町の考えや地域の声を県に上げていく努力が必要。

町長

●(仮称)湘南台寒川線(藤沢市北部から寒川方面に向け整備されている道路)は、どこにつなげる考えなのか。新駅から離れた分、アクセス道路の整備費用が増加してしまう。

●将来を見越して計画的に取り組んでほしい。

●県知事は視察で相模線が単線であることに驚いていた。

○年度内にルート案を一本化したい。

○相模線の複線化は進めなければならぬ。



### ◆ご意見をお待ちしています

まちづくりについてのご質問等がございましたらお気軽にご連絡ください。

〒253-0196 寒川町宮山165番地

寒川町 都市建設部 新幹線新駅対策課

TEL: 0467(74)1111 (内線321・322)

FAX: 0467(75)9906

メールアドレス shinkansen@town.samukawa.kanagawa.jp

ホームページ http://www.town.samukawa.kanagawa.jp

